

「明日の自治体経営を語る会」第5回
「総合計画の進行管理・行政評価に関する最新動向と課題に関する意見交換会」

開催日時：2018年10月1日(月)17:00～19:30

開催場所：機械振興会館6階6-66会議室

自治体参加者：12市区・団体24名

内訳 市区11(千葉県1、埼玉県1、東京都5、神奈川県3、京都府1)
公益団体1

当室参加者：大塚、馬場、渡邊、鈴木、土方、永野(記)、前河(記) /計7名

1. 開催目的

「まち・ひと・しごと総合戦略」や「EBPM」「SDGs」など、総合計画や行政評価に影響を与える新たな動向への対応について、自治体においてその実務に携わる関連部門の職員の間で議論し、ナレッジやノウハウを共有することを目的として、「第5回明日の自治体経営を語る会」を開催した。

2. 実施内容

基調講演

当室の大塚より、当室で実施した自主研究の成果も交えつつ、総合計画進行管理と行政評価の動向、行政評価の一般的課題、及び総合計画と行政評価を取り巻く新たな動向(「まち・ひと・しごと総合戦略」「EBPM」「SDGs」)について解説を行った。

写真1 基調講演の様子



自治体経営改革室活動報告

分科会 1：総合計画の進行管理・行政評価の問題点

分科会 1として、「総合計画の進行管理・行政評価の問題点」に関する意見交換を行った。意見交換は4～5名ずつ6グループに分かれて行い、各グループに当室のメンバーが1名ずつファシリテーターとして参加した。

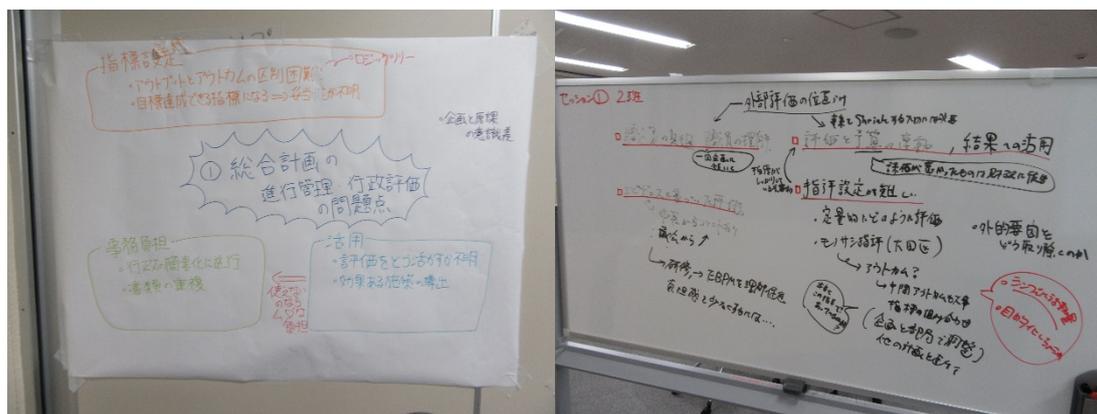
「総合計画の進行管理・行政評価の問題点」としては、評価を行う職員の負担感、評価と予算との連動性（評価結果の活用方法）、評価指標の妥当性、定量的に図ることが難しい施策のエビデンス設定、効果測定における外的要因の影響、内部評価と外部評価の連携、総合計画と総合戦略との整合性等に関して課題が浮き彫りとなった。

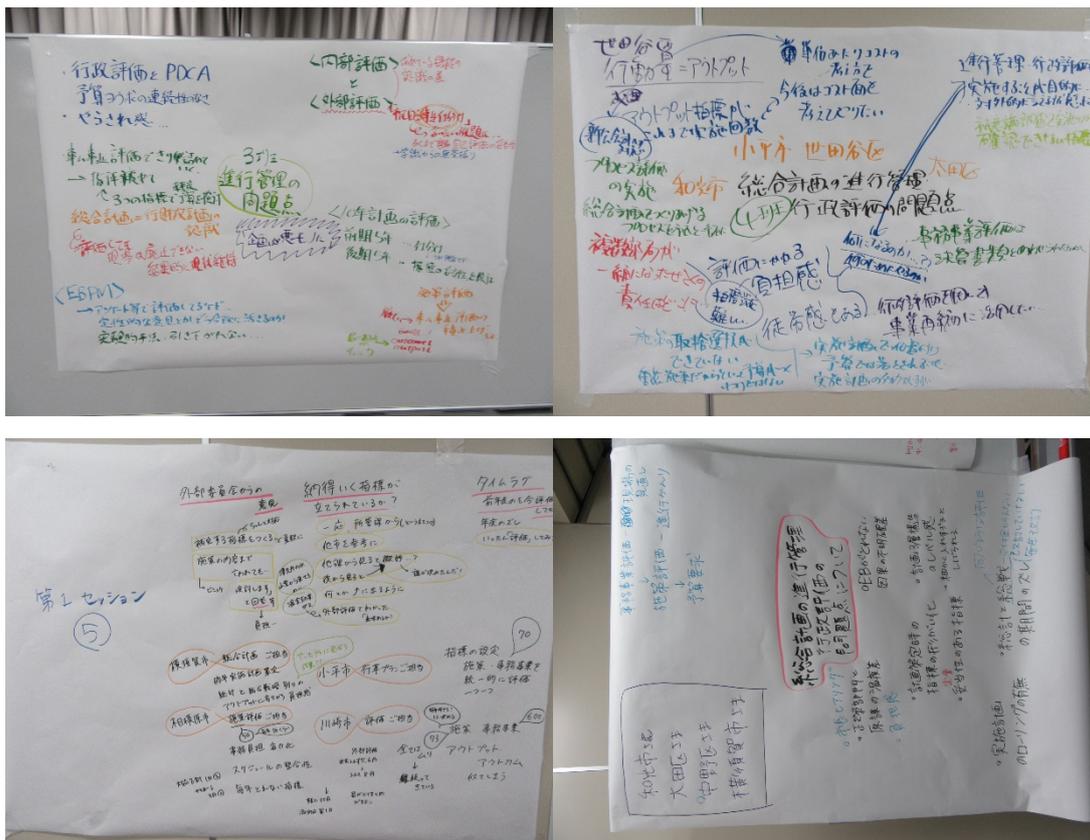
分科会 1の様子及び出された意見の概要は、以下に示すとおりである。

写真 2 分科会1の様子



写真 3 分科会1で出された意見の整理





分科会 2：課題の解決に向けた取組について

分科会 2 として、「課題の解決に向けた取組について」の意見交換を行った。意見交換は分科会 1 とはグループを変え、同様に各グループに 1 名ファシリテーターが参加した。

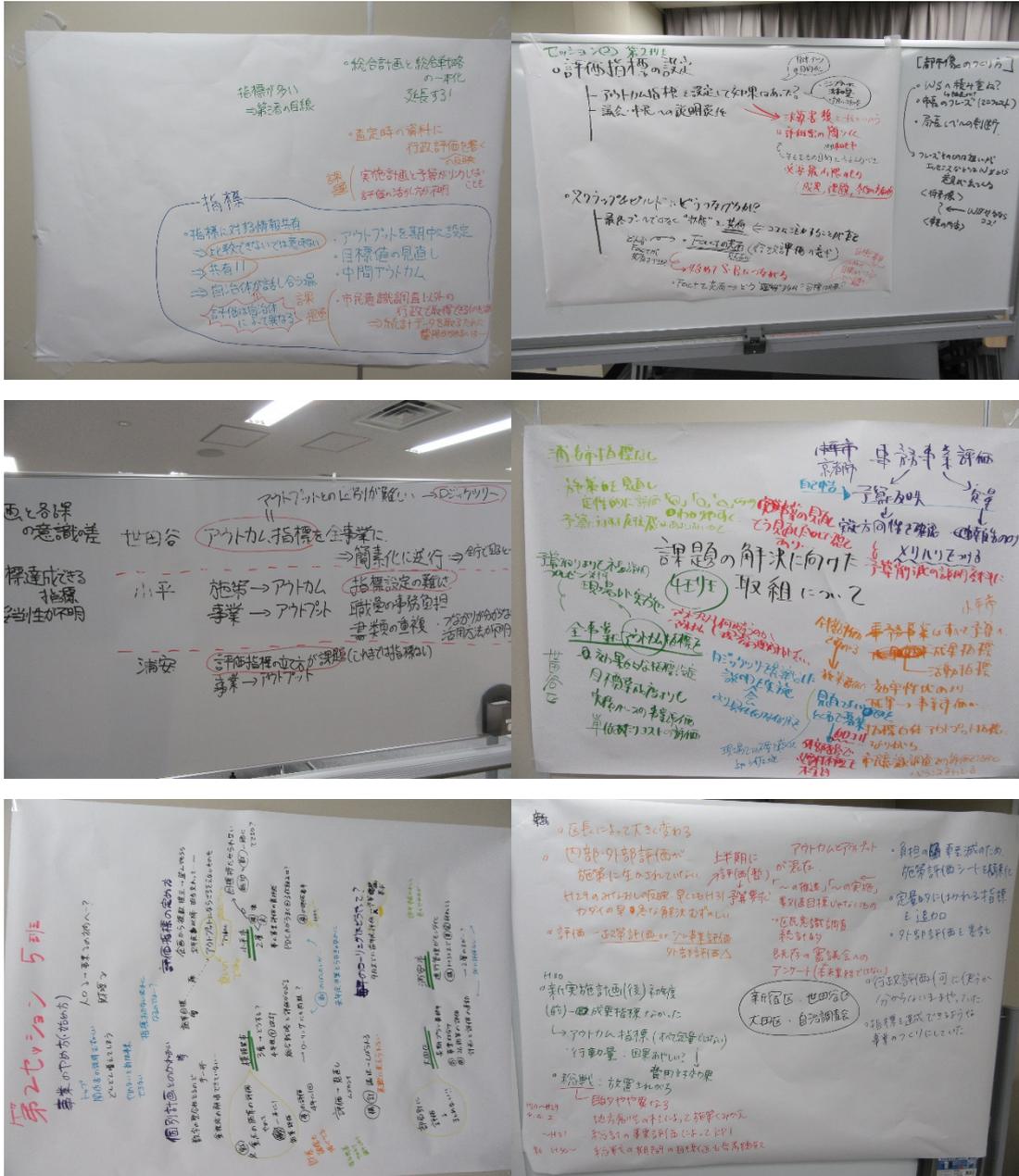
「課題の解決に向けた取組」としては、評価を行う職員の負担軽減のため評価シートの簡素化を行う例、期中に目標値や評価指標の見直しを行い、妥当性を高める例、総合計画と総合戦略とを一本化する例、全事業にアウトカム指標を設定する例、事務事業評価結果を予算要求へ反映させる例など、各自治体における工夫が紹介された。

分科会 2 の様子及び出された意見の概要は、以下に示すとおりである。

写真 4 分科会 2 の様子



写真 5 分科会2で出された意見の整理



全体討議

分科会1、分科会2において各グループで出された意見をファシリテーターが全体に発表し、その後全体での意見交換を行った。

原課における内部評価シートの簡素化や、事務事業評価の予算反映を行った自治体等に対して質問があり、各自治体の取組についての情報提供がなされた。

写真 6 全体討議の様子



閉会・自由意見交換会

分科会 1、分科会 2、全体討議をもって「第 5 回明日の自治体経営を語る会」は閉会とし、その後有志により懇親会を兼ねた自由意見交換が行われた。

写真 7 閉会の挨拶



以上